

同和教育映画

地区出身であることを隠し続ける青年の苦悩。そして恋人一家の葛藤を中心
に、差別や偏見に対する意識の変革と地域交流の大切さを考えます。

た び だ ち

新たなる出発

16ミリ版 55分
価格 250,000円
〔C #6026〕



東映株式会社 教育映像営業部

〒104 東京都中央区京橋2-4-12 ☎03-272-6111 FAX 03-273-7949

製作意図

急ピッチで変貌する社会の中で、いまだに世間体や因習にこだわり、対象地域（地区）の人々を特別視する誤った考え方や偏見（心理的差別）が根強く、人権尊重の精神が生活の中に十分育っていないのが現実です。

この映画は対象地域（地区）の隣接地に越して来た北山一家と地区の人々との交流を通して都市化、混住化が進む中で見えにくくなっている差別の実態を明らかにします。そして長女の恋人で地区出身であることを隠している宏の苦悩と、先輩の励ましや恋人の愛情によって彼が心を開いてゆく姿を描き、北山一家の意識の変革と地域交流の大切さとを明るく力強いドラマの中で考えます。

あらすじ

光栄ガラスに勤める北山恵子にとって素晴らしい日が続いている。真新しい家に引っ越し、コンクール出品作のデザインも完成した。そして社会人ラグビーの県予選で、わが光栄ガラスが強敵南雲建設に勝って準決勝進出を決めた。しかも逆転のトライを決めたのが恋人の工藤宏なのだ。

祝勝会に合流しての語らいは本当に楽しかった。しかし、新しい家に来て欲しいと説うと、宏はなぜかその話題を避けようとする。近所の人もみんないい人だった。向いの芹沢武、久江夫婦とは引っ越し早々から親しくなった。そしてスーパーでパートをしている工藤フミ……

ところが、そのいい人たちが対象地区の人たちだと知って恵子の両親（義雄・信子）は、自分たちも地区の者と思われるのではないかと心配し、地区の人たちとは上手につきあわないと……と警戒する。そんな両親に恵子は「地区と言うだけでどうして差別するのか」と抗議する。デートの時に恵子はそういう両親のことを話題にすると、宏は「差別意識のない人間なんていない。君もお母さんと同じで気づいていないだけさ。」とそっけない。こういう問題になると宏はいつもとまるで違ってしまう。

その理由がわかったのはふとしたことがきっかけだった。宏はフミの息子だったのだ。それを恵子に知られなくなかったのだ。その時の二人の様子を見て武は何が起こっているのかすぐ分かった。昔、彼も地区の人間だと言えず自信を失いかけたことがあった。そういう時、彼は久江に出会い、彼女に支えられてここまで来られたのだ。あの時、地区的出身でない久江は親や親戚の反対を押し切って飛び込んで来てくれた。だから武には二人の気持がよく分かるのである。

久江が地区出身者でなかったと知って、信子は彼女たちを色眼鏡で見ていたことを恥じるが、いざ娘のことになると別になる。あれほど気に入っていたのに、宏とは親しくしない方がいいと言い出した。「どこで生まれようが同じ人間に変わりはない。」と恵子は抗議するが、信子は「そんなことは世間では通用しない。好き好んで一諸になることはない」と譲らない。

一方、父の方は会社での経験から「差別する気持を取り除くには勇気を出して地区の中に入り、心の交流を図らなければならぬのではないか。」とまで考えるようになっていた。

フミも宏と恵子が知り合いだと知って、ああいう氣立てのよい娘さんが来てくれればと思う一方、あの人に迷惑をかけてはならないという気持もあって、心は千々に乱れる。

当の宏の気持も揺れ動いている。そんな状態だから出品作が佳作に入ったという知らせを聞いても、恵子は少しも嬉しくなかった。悩んだ末に恵子は芹沢にアドバイスを求める。彼は「今、必要なのは差別を乗り越える勇気だ。自分の気持に正直になりなさい。そして本当に宏が好きなら勇気を出しなさい。」と言う。

「私は宏さんが本当に好きだ」と確信をもった恵子はバスでフミと乗り会わせた時「家族の反対があっても宏さんのお嫁さんになりたい。」と事実上のプロポーズをする。フミはあわてた。恵子にこう言われて涙が出るほど嬉しかったが「いけません、お互いに不幸になるだけです。」と拒もうとする。そしてバスを下り、振り切るように道を渡りかけたところに自動車が……危ないと感じて、恵子はとっさにフミをかばったが、かばった恵子の方がねられてしまった。

練習中、芹沢から事故の知らせを聞いて宏はうろたえる。彼女がお母さんを助けようとして事故にあったこと、プロポーズのことなどを話してもまだふんぎりのつかない宏に業をやした芹沢はなおも激しく詰め寄る。

「何が恥ずかしい、今、地区の出身だというこだわりを捨てなければ、お前は一生人を愛せない人間になってしまうぞ。恵子さんだって懸命に自分と闘っているんだ。」と言う芹沢の言葉には火を吹く気迫がこもっていた。

宏は最もふれてほしくないことを武が言い出したのであわてたが、チームメートも黙って聞いていられなくなった。

「俺たちはお前が地区の出身だろうが何だろうが関係ない。お前は俺たちの仲間だ。お前だって分かっているだろうが、ラグビーは皆の心が一つにならなければ成り立たないスポーツだ。お互いが信頼できなからラグビーなんかできるわけないだろう。あとのことばは心配するな、早く恵子さんの所へ行ってやれ！」。そういうきつい励ましと温かい祝福を受けて、宏の心はハッキリ決まった。

病室で昏々と眠る恵子、見守る両親を前にして宏は深々と頭を下げる。そして「今すぐ恵子さんとのことを許していただこうとは思っていませんが、私は必ず恵子さんを幸せにしてみせます。」と言い切る宏の目は、新たなる出発への希望に輝いていた。

企画……埼玉県・埼玉県教育委員会

製作……東映株式会社教育映画部

プロデューサー……山上晃撮影……大山年治
脚本……杉村のぼる照明……沢田実
監督……小西通雄

キャスト

北山恵子…谷川みゆき 工藤宏…渋谷哲平
父 義雄…安井昌二 母 フミ…佐々木すみ江
母 信子…岩本多代 芹沢武…大門正明
妻 久江…立石涼子

●お買い上げは……

関東営業所 東京都中央区京橋2-4-12 〒104 ☎ 03-272-5191
新潟出張所 新潟市東堀前通り六番町 〒951 ☎ 0252-22-3091
関西営業所 大阪市北区曾根崎新地1-13-22 〒530 ☎ 06-345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730 ☎ 082-221-0505
高松出張所 高松市丸ノ内 11-14 〒760 ☎ 0878-51-3766
中部営業所 名古屋市中区錦3-24-3 〒460 ☎ 052-971-0923
九州営業所 福岡市博多区博多駅中央街12 〒812 ☎ 092-473-8541
東北営業所 仙台市一番町4-2-10 〒980 ☎ 0222-22-7613
北海道営業所 札幌市中央区南一条西7-4 〒060 ☎ 011-231-1439